



VOICE

読者のページ

2024年10月号(52巻10号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

検査データと血液像から疾患を推測する —白血球編—

- 血液業務を担当する者として、疾患からのアプローチはとてもわかりやすかったです。ATLを疑った時の初期対応などが、勉強になりました。 **UT (大阪府)**
- 検査データと血液像との関連性だけで終わらず、問題形式かつ症例検討方式で、関連疾患についても横断的に学べる解説が良かったです。 **HY (福岡県)**
- 大変わかりやすかったです。検査データと血液像から疾患を推測するシリーズ第1弾の2023年7月号も、再読してみようと思います。 **みい太郎 (兵庫県)**
- 解答・解説が見えない状態で問題を読めて良かったです。新人教育に活用したいと思います。 **reni (山口県)**

MT Seminar

尿沈渣成分鑑別における染色法の選択

- 尿沈渣の染色はステルンハイマー染色しか経験がありません。他の染色法について、特徴や染色態度をあらためて学べて勉強になりました。 **こにく (北海道)**
- 無染色と染色は、それぞれの成分に応じた使い分けをすべきなのですね。当院ではS染色以外の染色液を使用していませんが、特に単球や好酸球について、なぜ他の染色法で染め分ける必要があるのかも詳しく知りたいです。 **コウベノサウナー (兵庫県)**
- 今の職場には染色液が1種類しかありません。成分の判定に迷った時など、他の染色法を活用できれば鑑別に役立つかもしれないと思いました。 **MS (大分県)**

臨床検査 Q&A

ひらめ静脈の内側枝・中央枝・外側枝 について教えてください。

- 自身も検査中に悩むことがあり、あらためて位置関係把握の重要性に思い至りました。 **ばいせん (埼玉県)**
- 下肢静脈エコーは時間がかかる検査です。「正確な仕分けも大事ですが、それに気を取られすぎても～」という記述に大きくうなずきました。 **MS (新潟県)**
- 最近、下肢静脈エコーを始めました。ちょうど知りたかった内容で、とても良かったです。 **じゅん (神奈川県)**
- ひらめ静脈血栓に遭遇すると、内側枝か中央枝か外側枝か迷います。「静脈学」の詳細な定義に基づく区別は難しそうですが、日常的には大まかな位置把握で有効だとわかって安心しました。 **みい太郎 (兵庫県)**

臨床検査 Q&A

IGRA の T-SPOT と QFT-Plus の 違いを教えてください。 どちらが有用なのでしょう？

- ドクターやナースから「T-SPOT と QFT どちらがいいの？」とよく質問されます。ともに感度も特異度も優れた検査なので、「どちらでも」と答えていましたが、間違いでなかったことに安心しました。 **さんきち (山口県)**
- 理解があやふやだった両者の違いが、よくわかりました！ **DK (愛知県), むー (神奈川県)**
- 当院は、入職時健診で QFT 検査を外注しています。結核感染の診断には QFT と T-SPOT のどちらのほうが感度や特異度が良くて、日本で多く使用されているのはどちらなのかを知りたいと思っていました。勉強になりました。 **まっちゃん (和歌山県)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、または Web アンケート
にてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

